

令和5年度 公共政策学部 学校推薦型選抜 小論文 出題意図・採点基準

【出題意図】

[大問一]

- 問1 起きている現象の本質を文章で表現する能力を問う。
- 問2 ある現象が社会や制度に与える影響を考察し、それを踏まえて自分の意見を論理的にまとめる能力を問う。

[大問二]

この問題は、まず、我が国における総計資料を読み取り、それを分析し、まとめる力を問うものである。次に、そこから社会がどのような状況であり、それに関連して人々はどのような考え方にあるのかを理解し、その事からどのような社会問題や政策課題が浮き彫りになるのかを問うている。

[大問三]

- 問1 この問題は、傍線部に示された筆者の考えを的確に理解する力とともに、そのように主張する理由を文章中から読み取り、整理して論理的に記述する力を問うものである。
- 問2 筆者が神話を引き合いに出して論じるように、人間と技術との関係は古くて新しい問題であろう。今日、飛躍的に進化する技術によって、「ヒューマン・エンハンスメント」とも呼ばれるような、人間の能力等の変容がもたらされるようになってきている。このような状況下で、人間は技術とどのように向き合い、また用いるべきだと筆者は主張しているのかを踏まえ、それに対する自らの考えを明示すること、論理的に説明・表現することができるかどうかを問うている。

【採点基準】

- 問題文（課題）、グラフ・図表を正確に読み解いているか
- 論文の根拠がしっかりしているか
- 文章構成がわかりやすく、求められた字数を満たしているか
- 適切な語彙、統一された文体、主述の一致など正しい表現・表記であるとともに、原稿用紙の使い方を守っているか
- 客観的に分析することができるか
- 自分の意見を支えるための理由や具体例が説得力をもって書かれているか